

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 1 区分
 【発行日】平成22年7月29日 (2010.7.29)

【公表番号】特表2003-500813(P2003-500813A)
 【公表日】平成15年1月7日 (2003.1.7)
 【出願番号】特願2000-620277(P2000-620277)
 【国際特許分類】

F 2 1 V 13/12 (2006.01)

F 2 1 V 5/02 (2006.01)

F 2 1 V 7/22 (2006.01)

F 2 1 Y 103/00 (2006.01)

【F I】

F 2 1 V 13/12 Z

F 2 1 V 5/02 A

F 2 1 V 7/22 A

F 2 1 V 7/22 Z

F 2 1 Y 103:00

【誤訳訂正書】

【提出日】平成22年6月8日 (2010.6.8)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 2 2

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 2 2】

マイクロプリズム構造 17 を有する光学要素 14 の構造は、公知の方法で観察者に対する光線の眩惑防止効果をもたらし、即ち、照明装置 10 からの光線 15 の出射角度の制限をもたらす。その点で、光学要素 14 を通ってランプ 11 から直接、光線が全く、或いは、事実上全く放出されないが、実質的に反射器 12 の内側で反射される光線のみが光学要素 14 に入り、次いで光学要素 15 から下方に出ていき、光学要素 14 の前面の一樣、或いは、少なくとも事実上一様な照明が達成される。この効果は反射器の拡散反射性内側によって、更に、促進される。

図 3 に示される 2 本の長手ランプ 11 の代わりに、1 つの環状ランプ 11 を反射器 12 の対応放出開口部 13 の外側に設けることも可能である。